

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-508633 (P2005-508633A)

【公表日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-014

【出願番号】特願 2003-539599 (P2003-539599)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)
A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
A 6 1 K 39/395 (2006.01)
A 6 1 K 45/00 (2006.01)
A 6 1 K 48/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
G 0 1 N 33/15 (2006.01)
G 0 1 N 33/50 (2006.01)
C 1 2 N 5/06 (2006.01)
C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/68	Z N A A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
C 1 2 N	5/00	E
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 25 日 (2005.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95% 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95% 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチドであって、該ポ

リペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 2 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 1 または配列番号 3 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルを試験化合物に、該化合物の該ポリペプチドへの結合に適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が、該ポリペプチドに結合するかどうかを決定する工程

を包含し、それによって、細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 2】

細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 2 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 1 または配列番号 3 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルを試験化合物に、該化合物が該ポリペプチドの活性を調節するのに適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が、該ポリペプチドの該活性を調節する能力をアッセイする工程

を包含し、それによって、細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 3】

細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子；

b) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子であって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、核酸；および

d) 配列番号 2 のアミノ酸配列をコードする核酸分子

からなる群より選択される核酸分子を発現するサンプルを化合物に接触させる工程；ならびに

i i) 該化合物が、該核酸分子の該発現を調節する能力をアッセイする工程

を包含し、それによって細胞増殖障害または脈管形成障害を処置し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 4】

細胞増殖または脈管形成を調節し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 2 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 1 または配列番号 3 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルを試験化合物に、該化合物の該ポリペプチドへの結合に適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が、該ポリペプチドに結合するかどうかを決定する工程を包含し、それによって、細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定する、方法

。

【請求項 5】

細胞増殖または脈管形成を調節し得る候補化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 2 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 1 または配列番号 3 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチドを発現するサンプルを試験化合物に、該試験化合物が該ポリペプチドの活性を調節するのに適切な条件下で接触させる工程；ならびに

i i) 該試験化合物が、該ポリペプチドの該活性を調節する能力をアッセイする工程を包含し、それによって、細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定する、方法

。

【請求項 6】

細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定するための方法であって、以下：

i) 以下：

a) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子；

b) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸分子；

c) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子であって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、核酸分子；および

d) 配列番号 2 のアミノ酸配列をコードする核酸分子

からなる群より選択される核酸分子を発現するサンプルを化合物に接触させる工程；ならびに

i i) 該化合物が、該核酸分子の該発現を調節する能力をアッセイする工程を包含し、それによって細胞増殖または脈管形成を調節し得る化合物を同定する、方法。

【請求項 7】

前記サンプルがポリペプチドである、請求項 1、2、4 または 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記サンプルが細胞である、請求項 1、2、3、4、5 または 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記細胞が、内皮細胞、間質細胞、上皮細胞、脈管形成組織由来の細胞または胎仔由来の細胞である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記細胞増殖障害または脈管形成障害が、乳房癌、肺癌、卵巣癌、結腸癌および血管腫である、請求項 1、2 または 3 に記載の方法。

【請求項 11】

前記化合物が、低分子、ペプチドおよび抗体からなる群より選択される、請求項 1、2、

4 または 5 に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記化合物が、アンチセンス核酸分子である、請求項 3 または 6 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記ポリペプチドが、異種性のアミノ酸配列をさらに含む、請求項 1、2、4 または 5 に記載の方法。

【請求項 1 4】

細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を有するか、細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を発症する危険のある被験体を同定するためのキットであって、該キットは、第 1 の増幅プライマーおよび第 2 の増幅プライマーを含み、該第 1 のプライマーは、配列番号 1 または 3 の少なくとも 25 の連続するヌクレオチドを含み、そして該第 2 のプライマーは、配列番号 1 または 3 の相補体からの少なくとも 25 の連続するヌクレオチドを含む、キット。

【請求項 1 5】

細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を有するか、細胞増殖障害もしくは脈管形成障害を発症する危険のある被験体を同定するためのキットであって、該キットは、以下：

a) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一なアミノ酸配列を含むポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

b) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸と少なくとも 95 % 同一なヌクレオチド配列を含む核酸分子によりコードされるポリペプチドであって、該ポリペプチドは、フコシダーゼ活性を有する、ポリペプチド；

c) 配列番号 2 のアミノ酸配列を含むポリペプチド；および

d) 配列番号 1 または配列番号 3 に示されるヌクレオチド配列によりコードされるポリペプチド

からなる群より選択されるポリペプチド、および該ポリペプチドに選択的に結合し得る抗体を含有する、キット。

【請求項 1 6】

前記細胞増殖障害または脈管形成障害が、乳房癌、肺癌、卵巣癌、結腸癌または血管腫である、請求項 1 4 または 1 5 に記載のキット。

【請求項 1 7】

請求項 1、2、3、4、5 または 6 で同定された化合物を含む、細胞増殖障害または脈管形成障害を有する被験体を処置するための薬学的組成物。

【請求項 1 8】

前記細胞増殖障害または脈管形成障害が、乳房癌、肺癌、卵巣癌、結腸癌または血管腫である、請求項 1 7 に記載の薬学的組成物。